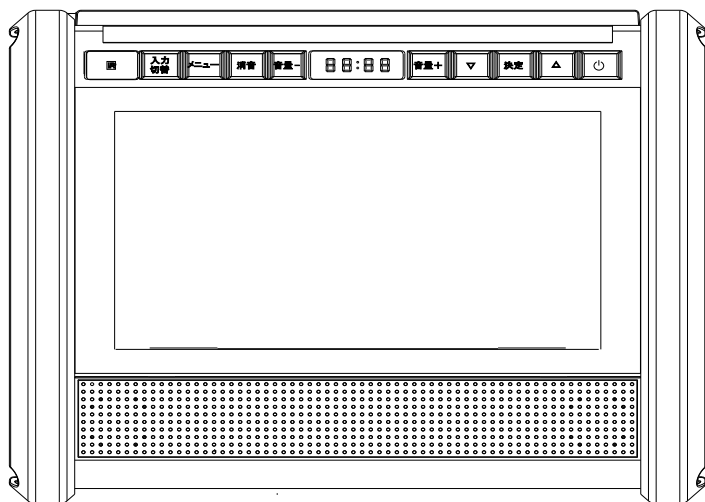


10.1 型テレビ搭載ポータブル電源

NEXTEC

NX-PB600TV

取扱説明書



この商品は、持ち運び可能な電源で AC 100V 出力や USB 5V 出力が出来ます。また、地上波デジタルテレビ放送や FM 放送も受信可能です。

この度は、NEXTEC NX-PB600TV をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

株式会社エフ・アール・シー

目次

安全上のご注意.....	3	FM ラジオを聴く.....	30
内蔵バッテリーについて.....	5	FM ラジオを聴く前に.....	30
使い方のご注意.....	6	FM モード時ボタン操作について.....	30
NX-PB600TV の機能.....	6	操作及び表示.....	32
同梱品の確認.....	6	外部メモリーを再生する.....	34
各部の名称.....	7	USB メモリーの再生.....	34
準備する.....	9	メモリー内のデータを再生する.....	35
リモコンの機能一覧.....	9	データ再生時の本体ボタン操作.....	36
リモコンを使う.....	10	データ再生時のリモコンによる操作.....	37
ご使用の前に.....	10	データ再生時の操作<操作バー>.....	38
本体起動.....	12	本体各種設定.....	40
1. 本体を起動する.....	12	警報の設定.....	41
2. 本体を充電する.....	12	アナログ防災行政無線の設定.....	41
本体メディア部ボタンについて.....	13	緊急地震速報の設定.....	41
本体電源部ボタンについて.....	13	音量とライトの設定.....	41
電源の使用方法.....	14	外部端子.....	42
AC アダプタを使う.....	14	イヤホン（別売）を使用する.....	42
シガーソケットアダプタを使う.....	14	HDMI 機器を接続する.....	42
USB-A 端子から給電する.....	15	主な仕様.....	43
USB-Type-C から充電／給電する.....	16	故障かなと思ったら.....	45
LED ライトを使う.....	17	お手入れについて.....	48
本体のコンセントを使用する.....	17	製品の廃棄について.....	48
テレビを見る.....	18	保証規定.....	51
テレビを見る前に.....	18		
miniB-CAS カードを入れる.....	19		
TV 受信アンテナを準備する.....	20		
接続とチャンネル受信.....	21		
テレビの視聴.....	23		
音量を調節する／消す.....	23		
その他.....	23		
設定しても放送が正しく映らない場合.....	24		
TV モード時ボタン操作について.....	25		
リモコンによる操作.....	26		
TV を設定する.....	27		

安全上のご注意

表示について

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用に当たり、次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 危険	人体が死亡もしくは重傷を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容
 警告	人体が死亡もしくは重傷を負いかねないことが生じることを想定される内容
 注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容

危険

⊘ 本体、AC アダプタが異常なとき（煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする）は、直ちにご使用を止めて、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

⊘ 火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。

⊘ 本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、接続されている全てのケーブルを抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警告

⊘ 火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり挿し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。

⚡ けがや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず全てのケーブル類を抜いてください。また、雷が鳴っているときは、本体、AC アダプタ等に触れないでください。落雷すると感電する恐れがあります。

⚡ 火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、AC アダプタをコンセントから抜くか、充電用ケーブルを抜いてください。

⊘ 本製品を指定された電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

⚡ シガーソケットアダプタを使用する場合、必ずエンジン始動後に接続して下さい。エンジン始動時に接続していると、一時的に高電圧や大電流（サージ電流）が発生するため、故障の原因となります。また、本体が異常なとき（発煙、発熱、異臭がする）は、シガーソケットから外してください。

万が一発熱や発火したら、煙が消えるまで本機を大量の水で消火してください。煙が出なくなることを確認してから弊社サポートセンターにご連絡ください。



⊖ 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。

⊖ 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。

⊖ 海外では使用しないでください。

⚠ 注意

⊖ 本機を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やけがをする原因になります。

⊖ 本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。

⊖ 本体を持ち運ぶときは、過度な衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。

⊖ ACアダプタを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、ACアダプタを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。ACアダプタが傷ついている場合は、ただちにご使用を止めてください。火災や感電の原因になります。

リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。



⊖ 本機の防塵・防水規格は保護等級IP44 (IEC:国際電気標準会議) です。本体を水拭きしたり、弱い雨天、軽く水しぶきがかかる環境下でご使用が可能です。浸水または、水没、豪雨時での長時間の放置や放水、お風呂場ではご使用しないでください。

⊖ 付属品のACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属品のACアダプタを本機以外の機器には使用しないでください。

⊖ 本機やACアダプタを布や布団などで覆った状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⊖ 本体内部の部品を触らないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品に触ると、やけどの原因になることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧、高電流部品により感電することがあります。

⊖ 分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。

⊖ 直射日光の当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。

- Ⓢ 医療機器や生命に係るような機器、社会的、公共的に重要な機器、重要な事業用機器などには、本機を絶対に使用しないでください。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■内蔵バッテリーについて

- ⚠ バッテリーは、高温環境に弱いので、炎天下の車内などの高い温度環境で放置すると故障や不具合の原因となります。

- Ⓢ 本体内部にはバッテリーが内蔵されております。分解し水などの液体を入れるのは危険ですので行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- Ⓢ ACアダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。断続的にACアダプタを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります。長期間にわたる連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ご使用にならないときは、必ずACアダプタを抜いて保管してください。

- Ⓢ バッテリー残量が空の状態での保管しないでください。長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態での保管すると、バッテリーの自然放電が続く事による過放電状態となる恐れがあります。必ず1年に1度は充電してください。購入後、満充電にしてください。ご使用にならない場合でも約1年を目安に充電してください。

- ⚠ 過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、長期にわたって繰り返されることにより、劣化が促進されます。劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど、性能が低下しバッテリーとして機能しなくなる場合があります。また劣化などにより、不安定な状態になります。

■使い方のご注意

⚠ 初めてお使いになる時は、本機を満充電にしてからご使用ください。

⚠ AC 出力に接続した機器の消費電力が本機の供給電力を上回った場合、自動的に給電が停止します。

⚠ AC 出力をご使用の場合は、満充電にしてからご使用ください。

⚠ 本機は接続する一部機器が使用範囲内でも動作しない、もしくは正常に動作しない場合があります。この場合は、その機器のご利用はお控えください。

⚠ 接続機器のケーブルを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ったり折り曲げると断線などの原因となります。

⚠ 充電または給電中は本機が温くなります（故障ではありません）ので、周囲には物を置かないでください。

⚠ 給電する機器の充電制御や充電状況、環境によって給電できない、または急速充電にならない場合があります。

●多数の充電方式

AC100V, DC12V, USB5V から本機に充電が出来ます。

●地上波デジタルテレビ受信

地デジチューナー搭載

●FM 放送受信

ワイド FM 対応

●防災ラジオ

緊急地震速報、緊急警報放送、アナログ防災無線対応

●外部入力端子搭載

HDMI 端子と入力用 USB 端子搭載

同梱品の確認

●本体

●AC アダプタ

●地上デジタル用アンテナ

●地上デジタル用アンプ付きアンテナ

●地上デジタル専用 mini B-CAS カード

●リモコン（本体専用）

●取扱説明書／保証書（本書）

●単 4 電池 2 本（試供品—リモコン用）

●シガーライターソケットアダプタ

NX-PB600TV の機能

●AC100V 出力

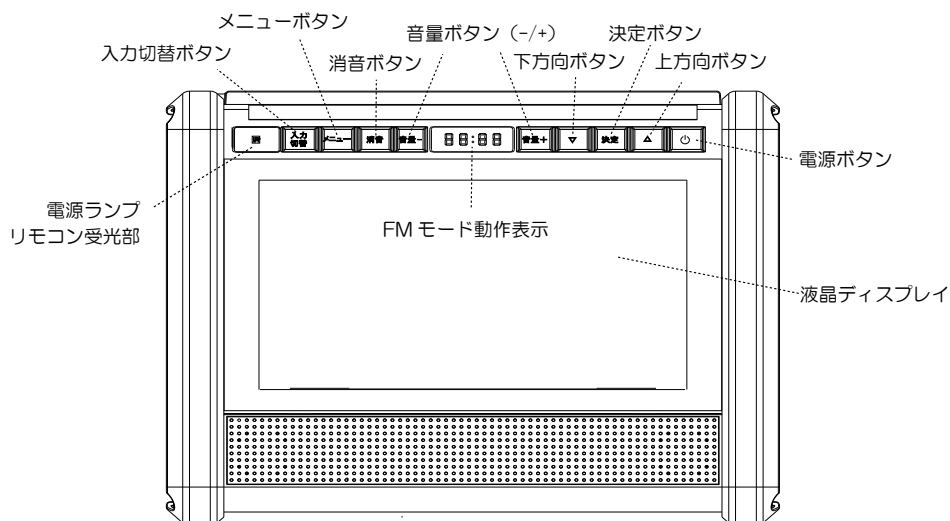
最大 150W の製品を動作させることが出来ます。

●USB5V 出力

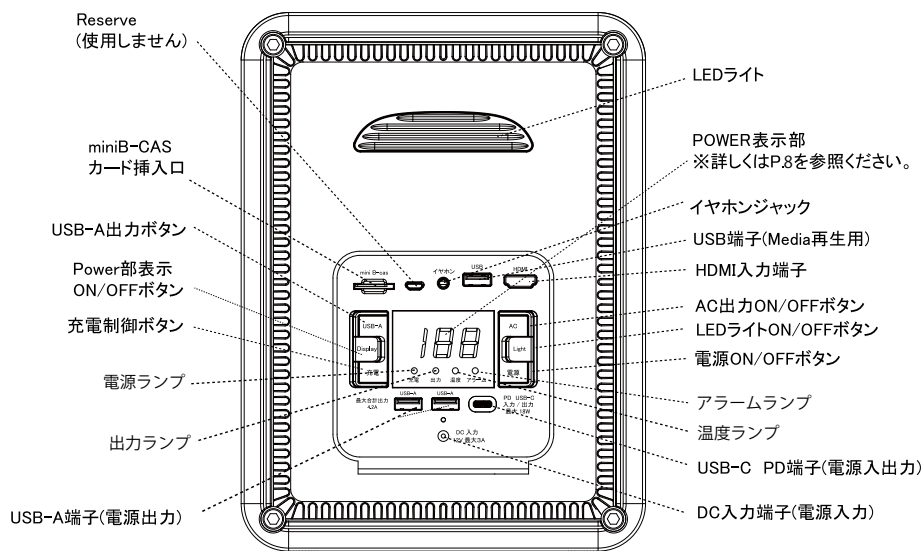
Type A からの給電および Type C コネクタから充電・給電が可能です。

各部の名称

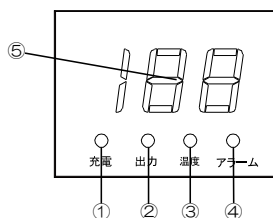
●本体正面部



●本体左側面部



● POWER 表示部



① 充電ランプ表示

- ・ バッテリー充電状態時、赤色ランプが点灯します。
- ・ バッテリー満充電状態になると消灯します。

② 出力ランプ表示

- ・ 放電時に緑色ランプが点灯します。

③ 温度ランプ表示

- ・ セット内部の温度上昇時に、オレンジ色ランプが点灯します。

※ご注意ください

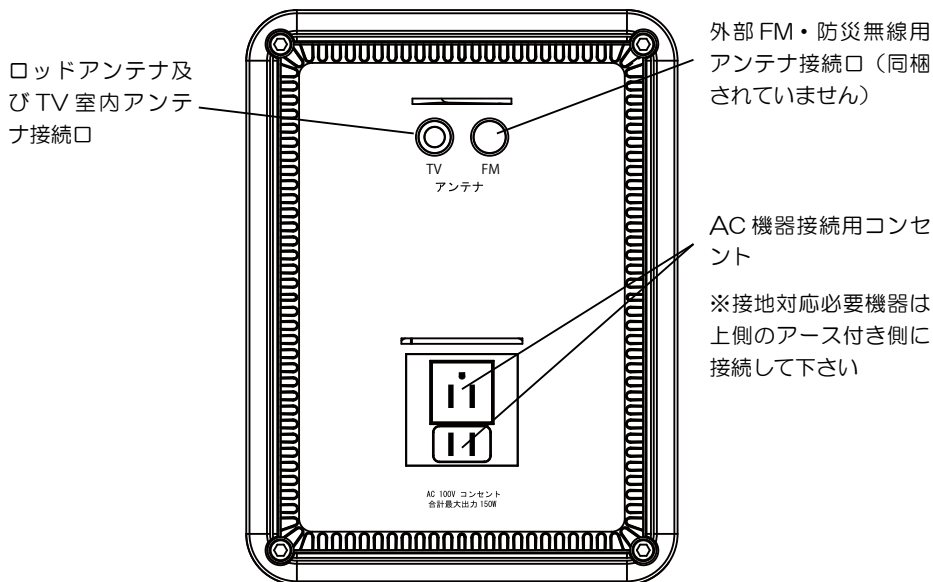
オレンジ色ランプが点灯した場合は、セット内の温度が上昇している状態になっています。出来るだけ周囲温度が常温に近い場所で使用してください。

④ アラームランプ表示

- ・ AC 出力部の異常発生時に赤色ランプが点灯します。

⑤ バッテリー容量表示

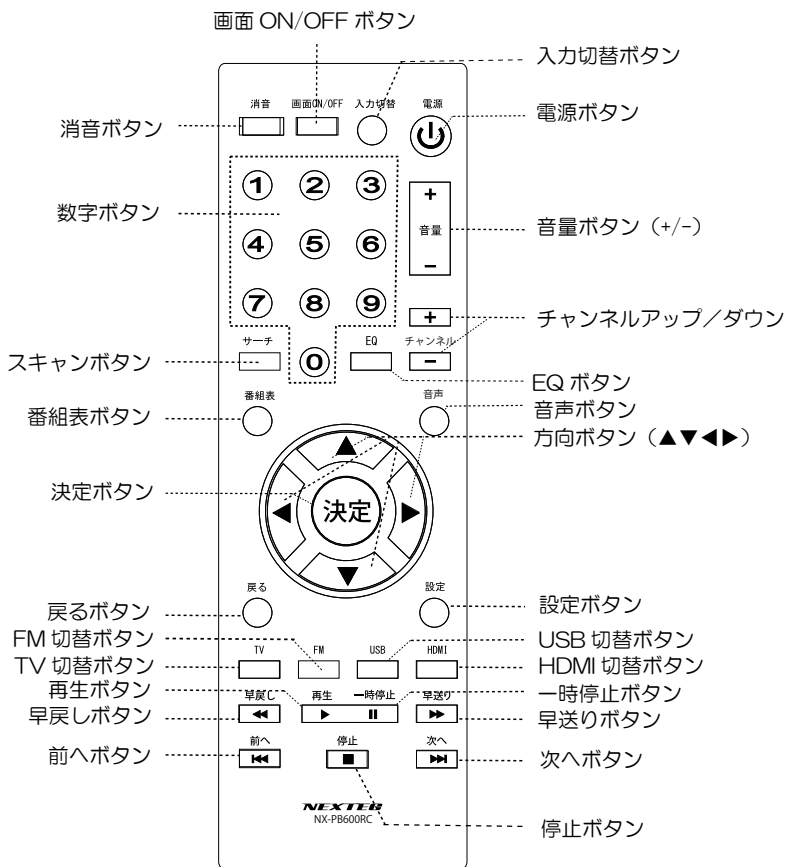
- ・ バッテリー容量を表示します。充電時は一桁目が点滅します。



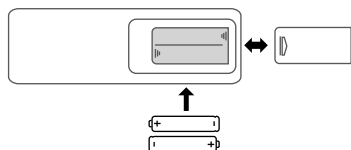
※本紙記載の内容に従い、正しく接続を行ってください

準備する

リモコンの機能一覧



リモコンを使う



リモコン裏面のカバーを取り外して、単四乾電池 2 本を電池ケースの“+・-”のマークに従って間違いのないように入れます。電池挿入後は電池カバーを取り付けてください。

■ご注意ください

- ・ リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・ 使用範囲は本体受光部正面から約 5 m、左右 30 度以内で使用してください。

※操作可能範囲は使用状況により変わります。

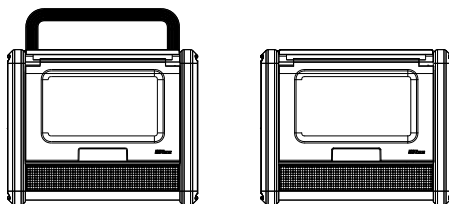
- ・ 本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ リモコンを投げる、落とすなどの過度の衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンを水に浸したり、湿度の高い所では使用、保管しないでください。
- ・ 電池を入れ替えたときにリモコンが正しく動作しないときがあります。この場合は、電池を一度取り出し、5 分以上経ってから再度入れなおしてください。
- ・ リモコンを分解、改造、修理しないでください。

■ご使用の前に

本機を満充電にしてください。長時間ご使用にならない場合でも 1 年に 1 度は満充電にしてください。

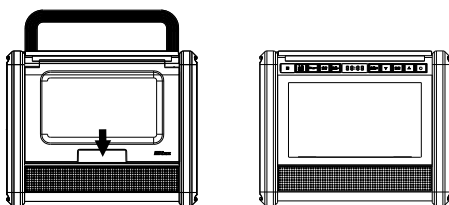
●ハンドルについて

移動、持ち運びの際には、ハンドルを上げてください。収納、使用時には下げて使用してください。

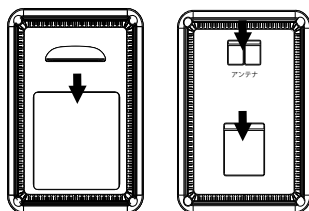


●ディスプレイカバー／端子カバーの開閉について

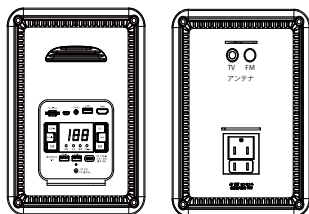
ディスプレイカバーは、液晶パネルや操作部を保護するものです。本体 TV/FM/HDMI/USB を使用する際は、ディスプレイカバーを開いてご使用ください。



・側面部のボタン操作および端子または、ACコンセントを接続する場合は、防水カバーを開いて使用してください。使用しないときは防水カバーを閉じてください。防水機能は、側面カバーを閉じた状態のときに有効となります。



防水カバーを閉じた状態

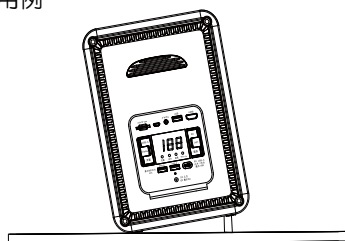


防水カバーを開いた状態

●スタンドについて

本体下部に収納可能なスタンドがあります。設置時に角度を調整し視聴することが出来ます。平らな場所に設置してください。設置場所が平らではない場合、本体が倒れることがあるのでご注意ください。

使用例

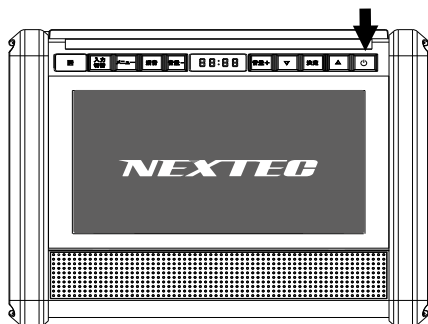
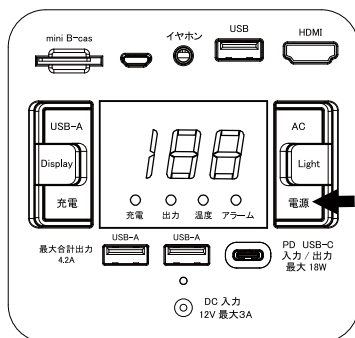


■ご注意ください

本機の防塵・防水規格は保護等級IP44 (International Electrotechnical Commission) 規格に準ずる環境下で使用が可能です。浸水または水没、豪雨時での長時間の放置や放水、お風呂場などではご使用しないでください。

本体起動

1. 本体を起動する



①本体部の電源をオンにする

側面パネル部にある電源ボタンを2秒程度長押ししてください。パネルの表示が点灯します。その次に画面上側一番右の電源ボタンを押してください。メイン画面に“NEXTEC”が表示され、起動します。本体正面側の電源ランプが緑点灯します。

※ 側面パネル部の電源がオンになっていないとメディア部の電源は入りません。

②電源をオフにする

メディア部の電源ボタンを押すと外面の表示が消えます。その後、本体部の電源ボタンを2秒程度長押ししてください。側面パネルの表示がオフになります。

※ リモコンの操作は、メディア部の操作が可能です。本体部の電源が入っていないと機能しません。

2. 本体を充電する

本体のDC入力に専用ACアダプタを差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。充電時は本体部の充電ランプが赤色に点灯します。バッテリー容量が少しずつカウントアップします。充電時は表示の1桁目が点滅します。大容量バッテリー搭載の為、フル放電時から満充電までには10時間近くかかります。

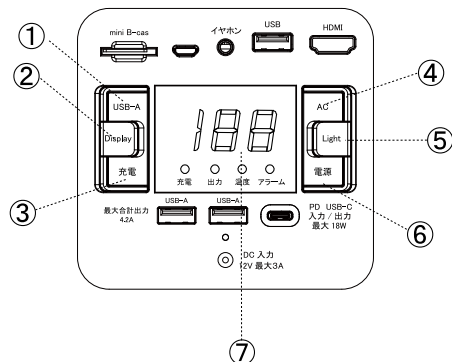
■ご注意ください

- 本製品を持ち運ぶときは、画面の破損を防ぐために画面カバーを閉めてください。カバー開閉時は、指を挟まないようにしてください。
- しばらく使用しない場合は、本体部の電源をお切りください。
- 表示画面に“C2”（低温）、“C3”（高温）が表示された場合、常温に近い環境で再度充電してください。低温や高温環境では、バッテリーを保護する目的で動作を制限しています。
- バッテリー容量が20%を下回ると、本体LEDが点滅を始めますので、速やかに充電をしてください。

本体メディア部ボタンについて

- | | | | |
|-------------|----------------------------------|-----------|---|
| 入力切替 | 入力切替ボタン：各種再生モードへと切替をします | ▽ | 下方向移動ボタン：カーソルを下方向に移動します |
| メニュー | メニューボタン：本機の各種メニューを表示します | 決定 | 決定ボタン：選択された項目を決定します |
| 消音 | 消音ボタン：音声出力を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります | △ | 上方向移動ボタン：カーソルを上方向に移動します |
| 音量- | 音量-ボタン：音量を小さくします | 電源 | 電源ボタン：メディア部電源のオン・オフをします |
| 音量+ | 音量+ボタン：音量を大きくします | FM | FMモード動作表示：FM放送受信時に周波数などを表示と、防災ラジオの設定の有無を表示します |

本体電源部ボタンについて



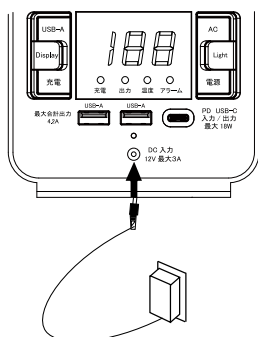
- ① USB-A 出力オン／オフボタン：出力時緑色点灯
- ② 表示オン／オフボタン：バッテリー残量表示の点灯・消灯をします
- ③ 充電オン／オフボタン：
 - ・緑色点灯：本体に充電しない
 - ・消灯：本体に充電を行う
- ※ 本体がオンの時に 2 秒長押しすることにより状態が変わります
- ④ AC 出力オン／オフボタン：出力時緑色点灯
- ⑤ LED ライトオン／オフボタン：LED ライトの点灯／消灯
- ⑥ 電源ボタン：電源オン時緑色点灯
- ※ 2 秒間長押しすることによりオン／オフの動作を行います
- ⑦ 表示部：バッテリー残量などを表示します

電源の使用方法

AC アダプタを使う

●付属の AC アダプタで充電を行います

- ① 本体の“DC12V” 入力端子に AC アダプタを接続します。
- ② AC アダプタをコンセントに接続します。通電すると、“DC12V” 入力端子の上部に赤色ランプが点灯します。



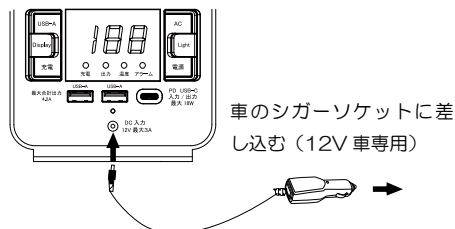
■ご注意ください

- ・ 付属品以外の AC アダプタを使用した場合、故障や破損の原因となります。
- ・ 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 本体の“DC12V” 入力端子に差したまま過度に衝撃を加えると破損する可能性があります。

シガーソケットアダプタを使う

●付属のシガーソケットアダプタで充電を行います

- ① シガーソケットアダプタを接続します。
- ② シガーソケットアダプタをお車のシガーソケットに接続します。



■ご注意ください

- ・ 運転中に使用しないでください。事故の原因になります。
- ・ 車内に本体やアダプタを放置しないでください。特に高温になると内蔵バッテリーの状態に影響します。
- ・ エンジン始動後に、シガーライターアダプタを接続して下さい。

■重要

- ・ 本機は 24V 車には対応していません。故障の原因となりますので、12V 車でご使用ください。

USB-A 端子から給電する

① 市販の充電ケーブルを準備し、本体“USB-A”端子に接続します。

② “USB-A” ボタンを押すと緑色に点灯し、USB 端子から給電します。

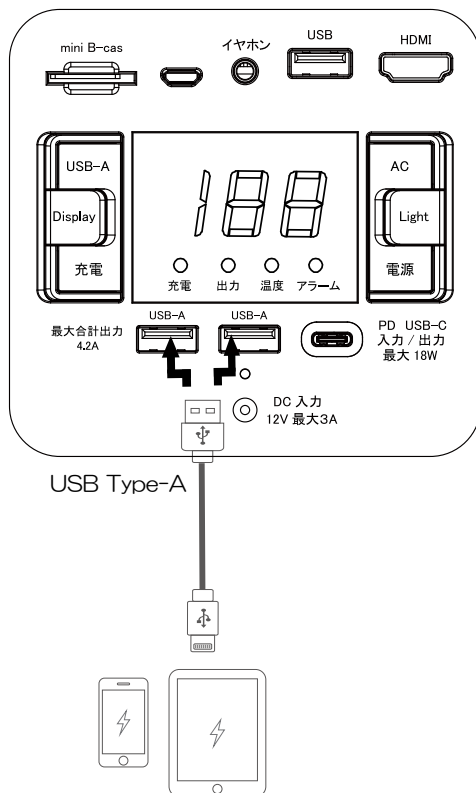
※ 2 つの“USB-A” 端子から同時に充電することが出来ます。

③ 充電終了後、「充電」ボタンをオフにして本体と充電ケーブルの接続を外します。

④ 給電できる電流は2つの USB ポートに合わせて最大 4.2A です。

■ご注意ください

- USB を接続するケーブルは付属していません。ご使用になる機器に合わせて準備してください。
- 接続機器の充電が完了したら、ケーブルを取り外してください。



USB-Type-C から充電／給電する

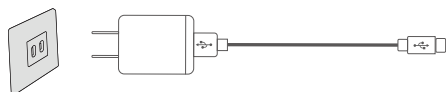
1. 本機を充電する

本機は急速充電（18W Power Delivery: PD）に対応しています。USB-Type-C のケーブルを本機の電源パネル部の“USB-C”端子に接続します。他方を AC アダプタに接続すると充電が開始します。

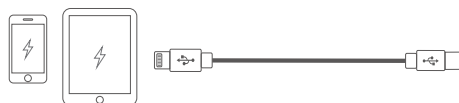
2. スマホやタブレットなどを充電する

“USB-C”端子に接続します。接続した機器の充電が始まります。使用するケーブルと機器により、急速充電が可能です。

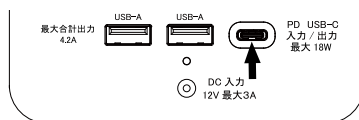
・本機を充電する場合



・スマホやタブレットなどに充電する場合



- ・DC 入力からの充電と USB Type-C 充電を両方接続した場合、先に接続されている方の充電が優先されます。

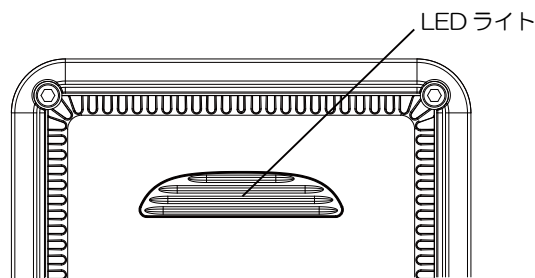


■ご注意ください

- ・急速充電を行う場合は、PD 対応の Type-C ケーブルをご使用ください。

LED ライトを使う

「LIGHT」 ボタンを押すと、本体の LED ライトが点灯します。



再度「LIGHT」 ボタンを押すと LED ライトが消灯します。

本体のコンセントを使用する

- ① 本体を安定した場所に置き、AC コンセントを本機に差し込みます。
- ② 電源部「AC」ボタンを押すと緑色に点灯して使用できます。(AC100V/50Hz)
最大 150W
- ③ 使用しないときは、「AC」ボタンを押してオフにしてください。



■ご注意ください

- FMや TV 視聴時にコンセントを使用すると受信状況によりノイズが生じることがあります。
- 50Hz での出力になりますので、60Hz 専用の機器はご使用できません。
- 接続される機器の負荷状況により、AC 出力時間が変わります。また、過負荷、過電流、短絡が発生すると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- 本体内部の温度調整の為、内蔵 FAN が作動する場合があります。

テレビを見る

テレビを見る前に

以下の項目にて、地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについてご案内いたします。

●本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することが出来ます。(BS・110度CSデジタル放送を受信することは出来ません)

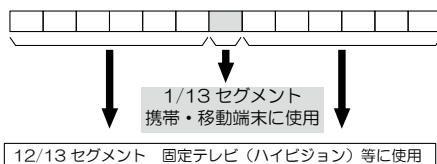
屋内での使用時は、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質のデジタル放送、ワンセグ放送のテレビ番組が楽しめます。

●地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送(13～62ch)の周波数帯域を使った放送です。最新のデジタル技術によりハイビジョン放送(高画質)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。また、音声信号を効率よく圧縮しての放送が可能で、原音に近い高音質な音声を楽しめます。(本機では、デジタル放送の一部サービスに対応していません。)

●ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



- ワンセグ放送は、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により受信可能なエリアが拡大されました。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- ワンセグは、テレビ事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細及び受信可能なエリアについては、下記ウェブサイトなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp>

■ご注意ください

- 安定した地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続や利用方法は、機器や会社ごとに異なります。ご加入のCATV会社にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。また、本機でペイ・パー・ビュー(PPV)番組を購入することは出来ません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送には対応していません。
- 本機はテレビ信号による緊急警報放送には対応していません。

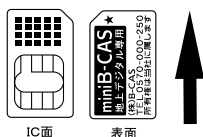
miniB-CAS カードを入れる

本機に同梱されている miniB-CAS カードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」受信などに必要です。miniB-CAS カードは常時本機に挿入しておいてください。

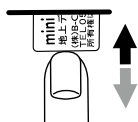
miniB-CAS の登録の仕方や取り扱いに関する詳細は、カードが貼ってある説明書をご確認ください。

説明書は、内容をよく確認の上、大切に保管してください。

- 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CAS カードの表面側を上にして下記の内容で「カチッ」音がするまで奥へ差し込みます。



- 取り出すときは、中央部を一旦押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます。

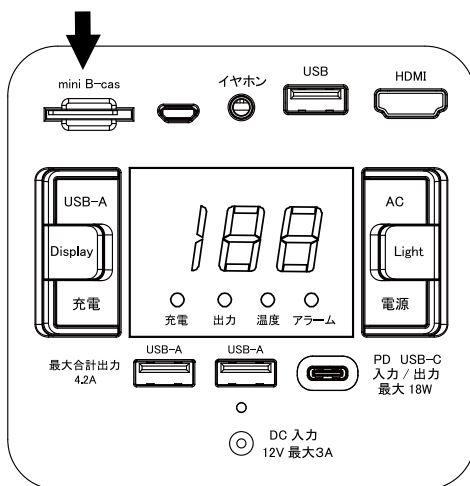


■ご注意ください

- miniB-CAS カードスロットには、miniB-CAS カード以外入れないでください。故障や破損の原因になります。
- ご使用中に miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。

■カード破損・紛失・盗難など

miniB-CAS カードのカード破損・紛失・盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。



TV 受信アンテナを準備する

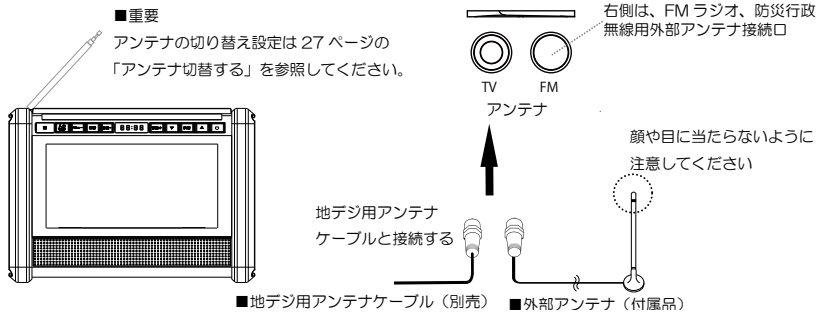
テレビ放送を視聴する時は、B-CAS カードを本機に差し込み後、アンテナを以下の内容で準備します。

●本体アンテナを使用する場合

- ・ メニューの“アンテナ切替”から“本体アンテナ”に設定します。
- ・ 本製品上部にあるロッドアンテナを伸ばして使用します。
- ・ アンテナを伸ばすときは、電波状況に応じて長さや方向を調整してご利用ください。

●付属の外部アンテナ、もしくは室内アンテナを使用する場合

- ・ 右側面の上の防水カバーを開いてアンテナを接続します。
- ・ メニューの“アンテナ切替”から“付属外部アンテナ”に設定します。
- ・ 室内アンテナを接続する場合は、アンテナ端子へ接続して下さい。



■ご注意ください。

- ・ アンテナの設定と接続状況が合っていない場合、正常に TV 放送を受信できません。（24,27 ページ参照）
- ・ 付属アンテナのマグネットを十分に接地された鉄板などへ貼り付けてください。接地状態が不十分だとテレビ放送を受信できない場合があります。

■お知らせ

- ・ 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。
- ・ アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- ・ 地上デジタル放送は一般的に UHF アンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴で伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

●付属のアンプ付き外部アンテナを使用する場合

- 右側面の上の防水カバーを開いてアンテナを接続します。
- メニューの“アンテナ切替”から“付属外部アンテナ”に設定します。
- アンテナのUSB側をUSBポートへ接続します(USB-A:ON)。または外部USB電源などに接続して下さい。
- 付属アンテナのマグネットを十分に接地された鉄板などへ貼り付けてください。

接続とチャンネル受信

本機を使用する場合は以下の接続とチャンネル受信を行う必要があります。



●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

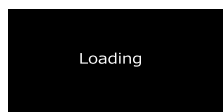
- ①本機がある程度以上充電されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CASカードが正しく挿入されていること



本製品に取り付けられているロッドアンテナは野外用の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は外部アンテナとの接続の上、設定・登録することをお勧めします。(本機とアンテナとの接続に関しては、20ページを参照してください。)

■お知らせ

- 受信環境が悪かったり、スキャン中に移動したりすると信号を受信できない場合があります。
- 遠隔地への移動を行ったり、受信環境の変化でスムーズに受信できない場合は、再度受信環境の良い場所でチャンネルスキャンを行ってください。



番組登録が失敗した場合



※設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、「サービスなし」の表示になります。下記をご確認の上、リモコン（または本体）の「決定」ボタンを押して再度チャンネルスキャンを行ってください。

※ 本機に正しく miniB-CAS カードが挿入されていますか？

※ 本機と接続しているアンテナが正しく設定されていますか？

※ アンテナ設置位置などをご確認ください。

電源を入れ、TV 機能を選択すると“システム起動中”の表示後、チャンネル自動検索を開始します。チャンネル自動検索が開始されたら、スキャン終了までお待ちください。（チャンネル自動検索は、初回時のみ開始します。チャンネル登録が成功した場合はチャンネル自動検索は行いません。）

チャンネル受信成功／登録中

※ 本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが登録されていきます。



本機に番組が登録された場合



※チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

テレビの視聴

■地デジ放送を選ぶ

他モードから地デジ放送に切り替えるときは、本体の「入力切替」ボタンを押し、入力ソースの“TV”を選択後、「決定」ボタンを押します。リモコンで操作する場合は、リモコンの「TV」ボタンを押します。

■視聴チャンネルを選局する

リモコンの「チャンネル＋／－」ボタンまたは、本体の「▲」「▼」ボタンを押すとスキャンで登録されたチャンネル番号順にチャンネルが切り替わります。

リモコンの「数字」ボタンを押すと、指定したチャンネル（主番号）に切り替わります。

番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルリストが表示されます。（チャンネルリスト表示）

「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し、「決定」を押すと選択した番組に切り替わります。

※ チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ／ワンセグ放送の選択が出来ます。

※ 「戻る」ボタンを押すと全画面表示に戻ります。

リモコンの「番組表」ボタンで現在表示しているチャンネルの番組表を確認することが出来ます。

リモコンの「決定」ボタンまたは本体の「決定」ボタンで現在表示しているチャンネルの詳細を確認することが出来ます。

リモコンの「音声」ボタンで現在視聴している番組の音声を切り替えることが出来ます。

音量を調節する／消す

■調節する

リモコンまたは本体の「音量＋」「音量－」ボタンで音量を調節します。

■消音する

リモコンまたは本体の「消音」ボタンを押すと消音状態に切り替わります。消音状態で「消音ボタン」を再度押すか、「音量＋／－」ボタンを押すとと消音状態が解除されて音が出ます。

その他

画面オン／オフボタン操作：画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。

EQボタン操作：音声イコライザを選択することが可能です。（標準／音楽／動画／スポーツ／ユーザー）

■ご注意ください

操作を立て続けに行くと誤動作したりフリーズする場合があります。その場合は一度、本体電源をオフにして再起動してください。

〈設定しても放送が正しく映らない場合〉

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されません。「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下の点についてご確認ください。

■野外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル放送受信対応のUHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。（詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者様などにご相談ください。）

■ケーブルテレビの場合

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送（CATV）やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システム管理者にご確認ください。

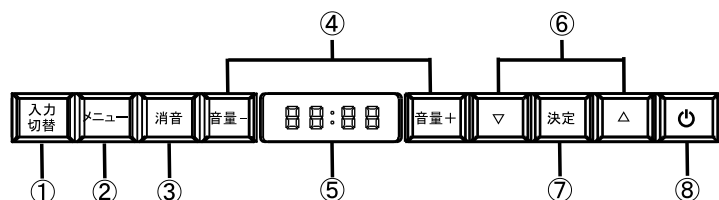
■本体アンテナ及び付属外部アンテナ

付属外部アンテナの接続が奥まで正しく接続されていることを確認してください。27 ページの【アンテナを切替する】の設定を正しく行ってください。設定と接続が正しくないと正確に受信できません。また、出来るだけ電波が良好な場所で受信してください。

アンテナのマグネット基台を十分に設置された鉄板などに貼り付けてください。接地状態が不十分だとテレビ放送を受信できない場合があります。

TV モード時ボタン操作について

●本体ボタン操作



- ① 入力切替ボタン：各モードから TV モードへ移行します。
- ② メニューボタン：TV に関するメニューが表示されます。 ※詳しくは 27 ～ 29 ページを参照ください。
- ③ 消音ボタン：音声を消します。
- ④ 音量＋／－ボタン：音量を調整します。
- ⑤ FM モード動作表示：防災ラジオの設定などを表示します。
- ⑥ 方向ボタン（▲）（▼）：スキャンで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
- ⑦ 決定ボタン：チャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。
- ⑧ 電源ボタン：電源オン／オフ操作を行います。

●リモコンによる操作

リモコンのイラストは9ページを参照してください

- 消音ボタン：音声を消します。



- 画面オン／オフボタン：画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。



- 入力切替ボタン：各モードへ移行します。



- 数字ボタン：TV 視聴したいチャンネルをダイレクトに選択します。



- チャンネルアップ／ダウンボタン：スキャンで登録されたチャンネル番号順にチャンネルが切り替わります。



- サーチボタン：自動スキャンを行います。



- 音量＋／－ボタン：音量を調整します。



- 十字ボタン／決定ボタン



▲ ▼→登録されたチャンネル順にチャンネルが切り替わります。

決定ボタン→チャンネルリストを表示します。

- EQ ボタン：音声イコライザを選択することが可能です。



- 番組表ボタン：現在表示しているチャンネルの番組表を確認します。



- 音声ボタン：音声多重放送の場合に音声を切り替えます。



- 戻るボタン：1 つ前に戻ります。



- 設定ボタン：TV に関するメニューが表示されます。 ※詳細は 27 ～ 29 ページを参照ください。



- FM 切替ボタン：FM モードに移行します。



- USB 切替ボタン：U SB モードに移行します。



- HDMI ボタン：HDMI モードに移行します。



TV を設定する

・「設定」ボタンを押すと TV に関する設定のメニューが表示されます。

①受信方法設定

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切り替える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルの低い場所では、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り替わります。このような場合は、設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することが出来ます。



- フルセグ：フルセグ受信に固定されます。受信状況が良い場合、フルセグ受信が可能です。
- ワンセグ：ワンセグ受信に固定されます。受信状況が悪い場合、この設定をお勧めします。
- 自動：受信状況により、フルセグ・ワンセグの受信切替を自動で行います。

※ 表示画面と受信状態を確認しながら、この設定を選択してください。



②チャンネルスキャンする

「▲」「▼」ボタンで、“自動サーチ”を選択し「決定」ボタンで設定します。

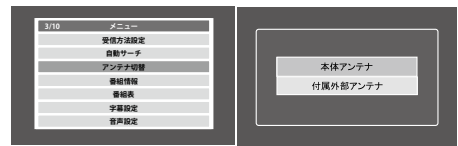


③アンテナ切替する

「▲」「▼」ボタンで“アンテナ切替”を選択し、「決定」ボタンで決定します。

設定項目

- ・ 本体アンテナ：本体のアンテナを使用する時に選びます。
 - ・ 付属外部アンテナ：付属のアンテナなどを使用する時に選びます。
- (右側面に接続された付属アンテナや室内TV ケーブル)



■ご注意ください

本設定とアンテナの接続を正しく行わないと、正確に受信できません。初期値は本体アンテナに設定されています。

④番組情報

「▼」「▲」ボタンで“番組情報”を選択し「決定」ボタンで設定します。

テレビ視聴中に「番組情報」ボタンを押すと、見ている視聴中の番組情報などの情報が表示されます。



⑥字幕設定

「▼」「▲」ボタンで“字幕設定”を選択し、「決定」ボタンで設定します。

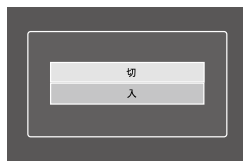
字幕がある番組の場合に、字幕の表示／非表示を切り替えます。



⑤番組表

「▼」「▲」ボタンで“番組表”を選択し「決定」ボタンで決定します。

テレビ視聴中に「番組表」ボタンを押すと、見ているチャンネルの番組表を表示します。

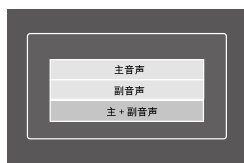


⑦音声設定

「▼」「▲」ボタンで“音声設定”を選択し、「決定」ボタンで設定します。

音声多重放送の場合に音声を切り替えます。

- ・ 主音声
- ・ 副音声
- ・ 主+副音声



■ご注意ください。

放送されている音声に合わせて設定してください。正確に設定されていない場合、音声が出力されない場合があります。

⑧受信強度表示

「▼」「▲」ボタンで“受信強度表示”を選択し「決定」ボタンを押すと選択されているチャンネルの信号強度を表示します。



⑨デバイス情報

「▼」「▲」ボタンで“デバイス情報”を選択し「決定」ボタンを押すとTVデバイスの情報を表示します。



⑩TV 設定を初期化する

「▼」「▲」ボタンで“工場初期化”を選択し「決定」ボタンを押すと、初期化画面が表示され、TVに関する設定を初期化することが出来ます。



FM ラジオを聴く

FM ラジオを聴く前に

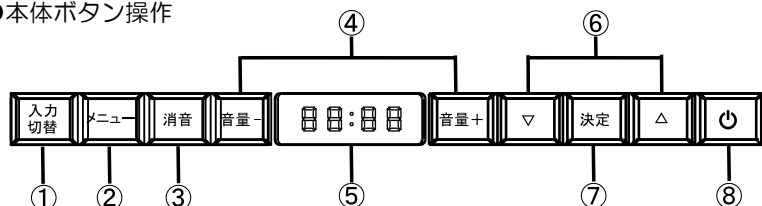
最初に受信可能な FM 放送をスキャンして、本機に登録を行います。アンテナを伸ばし、出来るだけよく聞こえる方向に向けてください。

■ご注意ください

- FM アンテナを取り扱う場合は、無理に曲げたり収納しないでください。アンテナが破損する可能性があります。
- 近くに置いているテレビの画面に影響したり、本機のラジオにテレビやパソコンからの雑音が入る場合は、本機をテレビやパソコンから離してご使用ください。
- 保管や持ち運びの時は、アンテナを本体に収納してください。FM アンテナを伸ばした状態で持ち運び、アンテナに負荷がかかると故障の原因となります。
- ビルの谷間、鉄筋住宅等は FM 電波受信レベルに影響が出ますのでご注意ください。

FM モード時ボタン操作について

●本体ボタン操作



- ① 入力切替ボタン：ボタンを押すとモード切替が出来ます。FM モード時に「入力切替」ボタンを押すと、前のモードに移行します。
- ② メニューボタン：自動スキャンを行います。中央の表示が変化し、スキャンを行います。
- ③ 消音ボタン：音声を消します。
- ④ 音量＋／－ボタン：音量を調整します。
- ⑤ FM モード動作表示：現在受信している周波数を表示します。
- ⑥ 方向ボタン：▲チャンネルアップ、▼チャンネルダウン
- ⑦ 決定ボタン：方向ボタンを押して、手動で 0.1MHz 毎に、周波数を合わせることが出来ます。
- ⑧ 電源ボタン：電源オン／オフ操作を行う事が出来ます。

●リモコンによる操作

- 消音ボタン：音声を消します。



- 入力切替ボタン：前のモードへ戻ります。



- 数字ボタン：登録されているチャンネルをダイレクトに入力します。



- チャンネルアップ／ダウンボタン：登録チャンネルの選局をします。



- サーチボタン：自動スキャンを行います。



- 音量＋／－ボタン：本機から出力する音量を調整します。



- 十字ボタン／決定ボタン：「▲」「▼」→スキャンをしたチャンネルの選局をします。「決定」ボタンを押すと”：”が点滅し「◀」「▶」を押すと周波数を0.1MHz毎に調整できます。再度「決定」ボタンを押すと”：”が点灯しその周波数が選択されます。



- TV 切替ボタン：TV モードに移行します。



- USB 切替ボタン：USB モードへ移行します。



- HDMI 切替ボタン：HDMI モードへ移行します。



●ワイド FM 対応

本機対応周波数は、超短波放送の周波数帯域（76.00 ～ 95.00MHz）になっております。日本国内において、電波法並びに放送法の規定により超短波放送を行っている日本のラジオ放送局（いわゆる FM ラジオ局）に対応し、ワイド FM にも対応しています。

操作及び表示

● FM ラジオ起動

本体の「入力切替」ボタンまたはリモコンの「FM」ボタンでFM ラジオモードへ移行します。

本体のFM ラジオ表示に現在の周波数が表示されます。

76:00

- ① 初期状態及び選局でできなかった場合“76.00”が表示されます。
- ② 次のFM ラジオ起動時は、前回受信していた放送局が選局されます。

■ご注意ください

- FM ラジオモードに移行すると本体の画面が暗くなります。これは、本機的设计仕様で故障ではありません。
- 本体アンテナでFM 放送を受信しますので、本体アンテナを伸ばして出来るだけ電波環境の良い場所でご使用ください。

●選局

本体の「メニュー」ボタンまたはリモコンの「サーチ」ボタンでFM ラジオ局を自動スキャンし、局番振り付けし保存します。

- ① 周波数 76.00 から 95.00MHz まで 0.1MHz づつスキャンしていきます。
- ② 受信可能周波数は順番に局番登録されます。

“CH01” → “CH02”

CH 01

- ③ 局番登録後、FM 放送を受信します。最初に登録されたFM 放送局が選定され、その周波数を表示します。

●局番選択

本体の「方向」ボタンまたはリモコンの「チャンネルアップ／チャンネルダウン」ボタンを操作することによって、選局できます。以下一例ですのでご参照ください。

チャンネルアップ

チャンネル CH 01 → CH 02 にアップ

チャンネルダウン

チャンネル CH 03 → CH 02 にダウン

リモコンの「数字」ボタンを押すと、ダイレクトに局番を選択できます。

例：数字ボタン「2」の場合（局番 2 が周波数 80.00MHz の時）

02 から 80:00 を表示します

●周波数手動調整

本体の場合、「決定」ボタンを押し、「▲」／「▼」ボタンで周波数の調整が可能です。
リモコン場合、「決定」ボタンを押し、「◀」「▶」ボタンで周波数を 0.1MHz 毎に調整が可能です。以下一例としてご覧ください。手動調整の場合は、「:」が点滅します。
再度「決定」ボタンを押すと、周波数手動調整モードが解除します。

周波数アップ

周波数 78:00 → 78: 10 にアップ

周波数ダウン

周波数 78:20 → 78: 10 にダウン

* システムの関係上、最下位桁の表示は常に0を表示しています。

リモコン操作時に、「決定」ボタンを押さずに「◀」「▶」を押すと、周波数サーチになります。放送を見つけるとそこで止まり受信します。

●音量調整

本体またはリモコンの「音量アップ」と「音量ダウン」ボタンで、音量の調節を行う事が出来ます。

●スタンバイ

リモコンの「電源」ボタンでスタンバイ状態に移行することが出来ます。

U 15

例 現在設定音量“U 15”のように表示されます。調整範囲は0～20です。

本体またはリモコンの「消音」ボタンで音を消します。もう 1 回押すと出力されます。

外部メモリーを再生する

USBメモリーの再生

USB 端子に USB メモリーを接続して入力切替ボタンにて USB を選択します。

- 再生可能なファイル形式
- * 静止画：JPEG, BMP
 - * 音楽：MP3, WMA, WAV, AAC
 - * 動画：MP4, MPEG-P5, WMA, 3GP



再生ファイルに関する注意

- ※ 上記ファイル形式でも高画質（高解像度）データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない／再生音が出力されない／読み込みが出来ない、等が起こる場合があります。
- ※ 記録された順序で再生されない場合があります。また、記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。



ファイルシステムに関する注意

- 本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
- ※ 本機で使用可能な外部メモリー（USB）は＜FAT32 形式＞でフォーマットされたメモリーで＜FAT16 形式＞や＜exFAT 形式＞のメモリーは使用できません。



外部メディアに関する注意

- ※ 外部メディア（USB メモリーや HDD 等）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。
- ※ 外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。あらかじめご了承ください。

メモリー内のデータを再生する

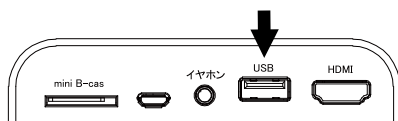
- ① 本機の“USB”端子にUSBメモリーを接続します。右図の矢印の箇所にUSBメモリーを接続して下さい。
- ② 本体またはリモコンで「入力切替」ボタンを押してモードを切り替えます。
- ③ USBモードに画面を切り替えた後、「◀」「▶」（本体ボタンの場合は「音量－」「音量＋」）で再生したい項目に移動して「決定」ボタンを押します。

写真：静止画ファイル再生

音楽：音楽ファイル再生

動画：動画ファイル再生

下部のUSB-Aは充電ポートですので、下部の2つのポートに接続しても再生が出来ません。



注意

再生できないファイルがあると、ファイル選択画面に戻る場合があります。

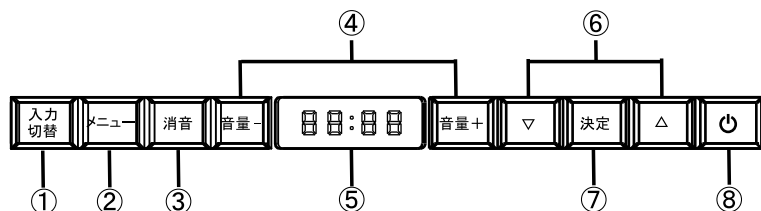
- ④ 再生する項目を選択後、「決定」ボタンを押すとデバイス項目に移動します。（＊選択項目：一つ前へ／「C」）

「C」を選択して「決定」ボタンを押すと、読み込み可能なデータ（またはフォルダ）が表示されます。

- ⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」ボタンを押すと画面が切り替わり、再生がスタートします。

- ＊ 再生を停止する場合は、「停止（■）」ボタンを押してください。（本体ボタンで操作する場合は、画面下部に各種ボタンが表示されますので、「音量－」「音量＋」ボタンで操作したいボタンを選んで、「決定」ボタンを押してください）

データ再生時の本体ボタン操作



- ① 入力切替ボタン：ボタンを押すとモード切替が出来ます。
- ② メニューボタン：本体各種設定のメニューが表示されます。 ※詳しくは 40 ページを参照ください。
- ③ 消音ボタン：音声を消します。
- ④ 音量＋／－ボタン：音量＋ 右にカーソルを移動します。
音量－ 左にカーソルを移動します。
- ⑤ FM モード動作表示：USB モードでは使用しません。
- ⑥ 方向ボタン：▼ 下にカーソルを移動します。
▲ 上にカーソルを移動します。
- ⑦ 決定ボタン：項目を決定する時に使用します。
- ⑧ 電源ボタン：電源オン／オフ操作を行う事が出来ます。

データ再生時のリモコンによる操作

- 消音ボタン：音声を消します。



- 画面 ON/OFF ボタン：画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。



- 入力切替ボタン：各モードへ移行します。



- 音量＋／－ボタン：本機から出力する音量を調整します。



- 十字ボタン／決定ボタン：▲▼◀▶→上下左右にカーソルを移動します。

決定ボタン→項目を決定する時に使用します。



- 設定ボタン：本体設定に関するメニューが表示されます。 ※詳しくは 40 ページを参照ください。



- TV 切替ボタン：TV モードへ移行します。



- FM 切替ボタン：FM モードへ移行します。



- HDMI ボタン：HDMI モードへ移行します。



- 早戻しボタン：音声、動画を早戻し再生します。



- 再生ボタン：選択したファイルを再生します。



- 一時停止ボタン：再生しているファイルを一時停止します。



- 早送りボタン：動画を早送り再生します。



- 前へボタン：前のチャプターやトラックへ移動します。



- 停止ボタン：再生を停止します。



- 次へボタン：次のチャプターやトラックへ移動します。



データ再生時の操作＜操作バー＞

各ファイルを再生中にリモコンの「決定」ボタンを押すと下記のメニュー操作を行う事が出来ます。

＜静止画ファイル再生＞



▶(II) 再生／一時停止

◀◀ 前のデータへ移動（＝【前へ】）

▶▶ 次のデータへ移動（＝【次へ】）

■ 再生停止（＝【停止】）

◁ リピート再生設定（＝【リピート】） ※ None: リピート無し、1: 1 ファイルリピート、ALL: 全ファイルリピート

Ⓡ ランダム再生設定（＝【ランダム】）

🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択

📄 プレイリスト：静止画（画像）ファイルとして認識したファイルをリスト表示

ℹ インフォメーション：再生中のデータの情報表示

↻ 90 度右回転：画像を 90 度右へ回転

↻ 90 度左回転：画像を 90 度左へ回転

🔍 拡大ズーム：最大 8 倍拡大表示

🔍 縮小ズーム：最小 1/4 倍縮小表示

✦ ※ MOVE VIEW（本機では使用しません）

⚙ 画面表示切替：「決定」ボタンを押すごとに切り替わり変更 ※標準／ランダム／ブロック／対角／ワイプ／スライド／フェード

＜音楽ファイル再生＞



▶(II) （プレイボタン） 再生／一時停止

◀◀ 早戻し（＝【早戻し】） ※再生／ x2/x4/x8/x16/x32

▶▶ 早送り（＝【早送り】） ※再生／ x2/x4/x8/x16/x32

◀◀ 前のデータへ移動（＝【前へ】）

▶▶ 次のデータへ移動（＝【次へ】）

■ 再生停止（＝【停止】）

◁ リピート再生設定（＝【リピート】） ※ None: リピート無し、1: 1 ファイルリピート、ALL: 全ファイルリピート

Ⓐ (AB リピート) A to B リピート：セット地点Aから地点Bまでの間をリピート再生させる設定機能 ※セット無し→【決定】A地点セット→【決定】：B地点セット&リピート設定→セット無し

Ⓡ ランダム再生設定（＝【ランダム】）

🔊x 消音ミュート設定（＝【消音】）

📄 プレイリスト：音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示

ℹ インフォメーション：再生中データの情報表示

🕒 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定

＜動画ファイル再生＞



動画ファイル再生時のメニューバーは、リモコンの「決定」ボタンを押すと表示されます。リモコンの「戻る」ボタンを押すとメニューバーが消えて全画面再生表示に戻ります。

▶(II) 再生／一時停止

◀◀ 早戻し（＝【早戻し】） ※再生／x2/x4/x8/x16/x32

▶▶ 早送り（＝【早送り】） ※再生／x2/x4/x8/x16/x32

◀◀ 前のデータへ移動（＝【前へ】）

▶▶ 次のデータへ移動（＝【次へ】）

■ 再生停止（＝【停止】）

↺ リピート再生設定（＝【リピート】） ※None: リピート無し、1: 1 ファイルリピート、ALL: 全ファイルリピート

Ⓜ ランダム再生設定（＝【ランダム】）

ⒶⒷ A to B リピート：セット地点Aから地点Bまでの間をリピート再生させる設定機能 ※セット無し→【決定】A地点セット→【決定】：B地点セット&リピート設定→セット無し

☰ プレイリスト：動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示

ℹ インフォメーション：再生中のデータの情報表示

⏮ スロー再生：【決定】を押すごとにスロー再生&倍速切替 ※再生／x2/x4/x8/x16

⏭ ステップ再生：【決定】を押すごとにコマ送り再生

🕒 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定

⚙ 画面表示切替：「決定」ボタンを押すごとに表示サイズ変更 ※自動／16:9／4:3

本体各種設定

リモコン、または本体の「設定」ボタンを押すと下記画面が表示されて各種設定が可能です。TV または FM モードで行う場合は、入力切替画面を表示させているときに「設定」ボタンを押すと、本設定画面を表示することが出来ます。

▲▼ボタンで“画面設定”“音声設定”“基本設定”“警報設定”を選択し各種設定を行います。

●設定画面

■ 画面設定：映像モード（標準／ソフト／ユーザー／ダイナミック）

コントラスト比（0～100）

明るさ（0～100）

色彩

シャープネス（0～100）

色温（標準／ウォーム／ユーザー／クール色）

画面サイズ（16:9／自動／4:3）

■ 音声設定：音声設定（標準／音楽／動画／スポーツ／ユーザー）

高音（0～100）

低音（0～100）

バランス（-50～+50）

自動音量（オン／オフ）

サラウンドサウンド（オフ／サラウンド）

■ 基本設定：工場初期化（はい／いいえ） ※全ての設定が初期値に戻ります。

メニュー表示時間（オフ／5秒／10秒／15秒／20秒／25秒／30秒）

■ 警報設定：防災行政無線の設定

防災行政無線（オフ／オン）

周波数（54.830～65.990, 68.205～69.765 MHz）

緊急地震速報（オフ／オン）

周波数（76.1～94.9 MHz / 0.1MHz ステップ）

音量設定（1 / 5 / 10 / 15 / 20）

ライト動作（点滅／点灯）

■ご注意ください

- 各種項目に対しての水色のカーソルがある項目が選択されている項目です。設定項目を確定する場合は、「決定」ボタンを押してください。
- テレビ視聴時は、「入力切替」ボタンを押してから、本体の場合「メニュー」ボタン、リモコンの場合「設定」ボタンを押してください。本体設定画面が表示されます。

警報の設定

アナログ防災行政無線の設定

設定画面の警報設定からアナログ防災行政無線の設定を行います。

設定する項目は、防災行政無線のオン／オフと周波数です。

注意

- ・ 防災行政無線は、地域によってはデジタル方式に移行しております。本機はデジタル方式には対応しておりません。
- ・ 音量設定とライト動作は、緊急地震速報の設定と共通項目になります。

- ① 設定画面の警報設定から防災行政無線の項目を選択し、「▶」ボタンで“オン”を選択します。
- ② 防災行政無線の周波数を登録します。オレンジ色に変わっている部分（カーソル）の数字をリモコンのテンキーで入力し、カーソルが“OK”に移行したら「決定」ボタンを押します。

緊急地震速報の設定

設定画面の警報設定から緊急地震速報の設定を行います。地域のFM放送に乗っている緊急警報信号を検知してアラートを出します。

設定する項目は、緊急地震速報のオン／オフとFM放送の周波数です。

- ① 設定画面の警報設定から緊急地震速報の項目を選択し、「▶」ボタンで“オン”を選択します。
- ② 地域のFM放送局を登録します。（NHK FM局を選択してください。民放のFM局は緊急地震速報の信号が乗っていない場合があります）オレンジ色のカーソル部分の数字をリモコンのテンキーで入力し、カーソルが“OK”に移行したら「決定」ボタンを押す。

音量とライトの設定

警報の設定は音量とライトの設定が出来ます。

・ 音量の設定

音量設定を選択し、音量を設定する（1 / 5 / 10 / 15 / 20）

・ ライト動作

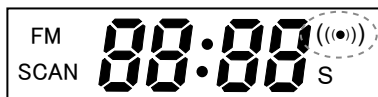
警報放送（アラート）受信時、ライトを連動します。（点滅／点灯）

●緊急放送を受信したときは以下の動作になります。

・ LED が点滅

- ・ 設定された音量で緊急放送が鳴る（FM放送、行政防災無線）

緊急地震速報や防災行政無線の設定がONになると、FMモード動作表示に防災アイコンが表示されます。



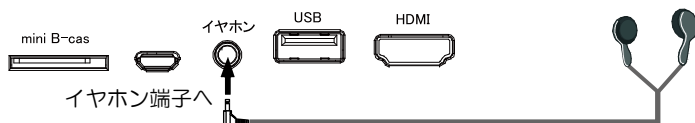
外部端子

イヤホン（別売）を使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドフォンに対応します。

イヤホンジャックに差し込むと本体スピーカーからの出力は切れます。

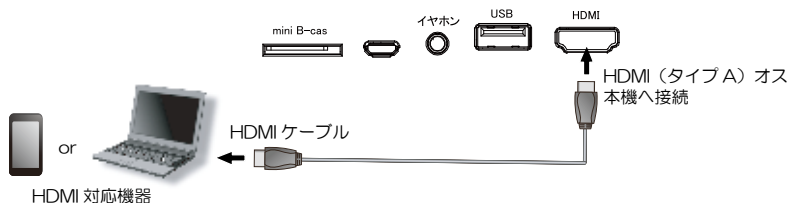


■ご注意ください

お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みのお音量に調整してください。
また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。

HDMI 機器を接続する

- ① 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンにて“HDMI”を選択し、「決定」ボタンを押します。
- ② 本機の左側面の“HDMI”入力に、他機の HDMI 出力に接続することで、スマートフォンや他機器の映像と音声を再生することが可能です。



接続をする機器により、コネクタの形状が異なりますので、接続する機器に合わせて HDMI ケーブルや変換アダプタを準備してください。

■ご注意ください

- ・ 表示される画面や音声は、接続される機器やアダプタの動作や性能に依存します。
- ・ 2K, 4K, 3D 等の再生には対応していません。
- ・ PC 等の HDMI 出力を接続してサブモニターとして使用する事が可能です。その場合、設定を PC 側で行ってください。（拡張設定や複製設定など）
- ・ 接続する機器により表示できない場合があります。

主な仕様

バッテリー容量	60,000mAh (222Wh) ※リチウムイオンバッテリー
防塵防水規格	IP44
許容動作温度	0～40℃ ※放電は-10℃まで
外部電源接続端子	充電用USB端子(Type A 充電電流出力用 2系統 ※最大合計4.2A) DC電源入力/出力コネクタ (Type C PD 18W) AC出力 (AC100V/50Hz) ※出力最大 150W
連続使用時間 *1	TV視聴：最大30時間、FMラジオ聴取：約120時間、LEDライト：約72時間
充電時間 *1	約10時間 ※バッテリー残量0～満充電まで
ライト点灯	3W
電源定格	DC12V/3.0A 入力範囲 (DC10～22V) 専用ACアダプタ AC100V 50/60Hz
パネルサイズ	10.1型 ワイド
液晶解像度	1024 x 600 ピクセル
TV受信チャンネル	地上デジタル放送 (ワンセグ放送対応)
映像信号方式	ISDB-T
外部アンテナ入力	地上デジタル用 1系統、FMラジオ用 1系統
FM受信周波数	76～95MHz (0.1MHzステップ) ※ワイドFM対応
アナログ防災無線受信周波数	54,830～65,990MHz/68,205～69,765 MHz
HDMI 端子	1系統 (Type-A)
イヤホン出力	1系統 (ミニジャック)
USB 端子	1スロット (Type A) ※メディア再生用
再生可能データ	MPEG4/MP3/JPEG ※その他の詳細は34～35ページ参照
外形寸法	320(W) x 261(H) x 196(D) mm (ハンドルなどの突起物を除く)
本体重量	約5.8kg (バッテリーを含む)

*1 連続使用時間及び充電時間は、状況・環境などにより異なります。また、充電電池の経年劣化により、使用時間が短くなります。

仕様及び外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。

長年ご利用されている場合は点検を行ってください

このようなことはありますか？	• 電源コードや電源プラグが異常に熱い	ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて弊社サービス課又は販売店へご相談ください。
	• 電源コードを動かすと通電したりし中たりする		
	• 製品に触れるとビリビリと電気を感じる		
	• その他の異常・故障がある		

●自己診断機能について

本機には自己診断機能があります。使用中に自己診断機能が働き、警告やエラーが発生しましたら、下記の内容にてご確認と対応を行ってください。

① 温度ランプ（オレンジ色）

本体内部の温度が高温になると、温度ランプ（オレンジ色）が点灯、表示画面にエラーコード” C3” が表示され、ファンが回転します。異常ではありませんが、使用状況、環境温度と AC 駆動負荷を確認してください。

② アラームランプ（赤色）

AC 出力に問題が発生したら、アラームランプ（赤色）を点灯、表示画面にエラーコード” C1” が表示されます。AC 出力に接続されている機器の状況を確認してください。

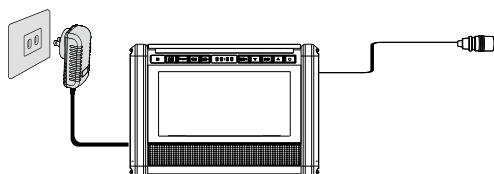
エラーコード	内容	対応方法
C1	AC 出力に異常	AC 電源部に接続された機器をすべて外し、再確認してください。
C2	低温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。
C3	高温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。

故障かなと思ったら

次のような場合は、故障ではない場合があります。修理・検査のご依頼前にもう一度ご確認ください。

【まずご確認ください】

「電源が入らない」「放送が映らない」等の場合は、まず電源及びアンテナの接続を確認してください。



症状	原因	処置
電源が入らない	充電されていない	AC アダプタなどを使用して本機を充電してください。
	主電源スイッチがオンになっていない	主電源スイッチをオンにしてください。
リモコン操作が出来ない	リモコンの電池切れ	リモコンの電池を交換してください。
	電池が正しく入っていない	電池のプラス／マイナスを正しい位置に入れてください。
	受光部に信号が入っていない	リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。
リモコンのCH+/-ボタンで特定のチャンネルが選局できない	チャンネル登録は正常にできていますか	アンテナとの接続やアンテナの設定などをご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。 ※CATV やマンションの共聴システムをご利用の際は、パススルー方式での受信に対応しているかをご確認願います。
テレビ視聴時、映像も音声も出ない	アンテナ線が接続されていることをご確認願います。	アンテナの設定をご確認願います。
		外部機器との接続ケーブルが接続されていることをご確認願います。

症状	原因	処置
テレビ視聴時、映像は出るが音声が出ない	消音状態になっている イヤホン端子にイヤホン／ヘッドフォンが接続されている	音量を調節してください。 イヤホン／ヘッドフォンを抜いてください。
テレビ視聴時、音声に異音が入ったり映像にノイズが出る	携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用している	無線機器類は本機と話してご使用ください。
	受信電波信号が弱い AC 出力やスマートフォンへの充電を行っている	受信電波が強い場所に移動する AC 出力やスマートフォンへの充電を停止することで受信状態が良くなる場合があります。
テレビ視聴時、映像が悪い	アンテナケーブルの外れや断線	アンテナケーブルの接続や断線が無いかご確認願います。
	設置されているアンテナの位置や向きが悪い	アンテナの位置や向きを変える
	近所で落雷や電波障害が発生している	落雷や電波障害が治まるのを待つ
	1 本のアンテナ線を複数の機器に使用している	アンテナ線の共有を止める
	本機の近くで電磁波が発生する機器を使用している	それらの機器から離す
	映像調整が正しくない	映像調整を行う
	受信チャンネルが正しく設定されていない	受信チャンネルを正しく設定する (地域が変わった場合は再度設定が必要です)
B-CAS カードに関するメッセージが出る	mini B-CAS カードが正しく挿入されていない	mini B-CAS カードを本機に正しく挿入する。
設置場所を替えた ら(引っ越し等) テレビの視聴が 出来なくなった	テレビの視聴エリアが 変わった	受信チャンネルの再設定を行 ってください。
FM 放送が選局／受 信できない	建物の中、高い建物の近く、 ドアや電波を遮断するもの の近く等で電波が弱い	なるべく障害物のない環境で電 気機器などからも離してご利用 願います。
	AC 出力やスマートフォン などを充電している	電源の機能を使用するとノイズ が発生して TV/ ラジオは聞きに くくなります。AC 出力やスマート フォンへの充電を止める

症状	原因	処置
本機への充電時間が長い	本機を利用しながら充電している	充電時は、本機への充電だけを行ってください。
給電できない	ケーブルや端子の接触が悪い	ご利用する機器が推奨するケーブルをご利用願います。
	本機が充電されていない	本機を充電してください。
	お使いの機器の消費電力が大きい	AC コンセントに接続してご利用できる機器の目安を参照してご利用願います。
電源としての使用時間が短い	本機内部のバッテリーの寿命	弊社サービス課までお問い合わせ願います。
	本機が十分に充電されていない	充電容量を確認しながら充電してください。
外部メモリーのデータが再生されない	本機に接続したメモリーのファイルシステムが本機に対応していない	FAT32 形式でメモリーをフォーマットしてください。
	保存されているデータが壊れている	本機では読み込めません。
	本機に対応したファイル形式ではない	本機では読み込めません*1
本体機器が熱い	温度ランプが点灯している	一定時間動作を行わないでください。
	ご利用環境の温度が高い	常温（20℃くらい）に近い環境でご利用願います。
	” C3 ” のエラーコードが表示されている	本体内部がかなり熱くなっているので、直ちにご利用を中止して下さい。内部の温度が冷えてきてから使用を再開してください。

*1 外部メディアについての動作保証及びサポートは行っておりません。

問い合わせ先

〒 194-0037

東京都町田市木曽西 2-3-8

株式会社エフ・アール・シー サービス課

URL: <https://www.frc-net.co.jp>

TEL: 042-793-7746

土日祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00、13:00～17:00】

■ AC コンセントに接続してご使用になれる機器（150W 以下）の目安

AC コンセントは最大 150W 2 口合計となります。接続する機器は、合計 150W 以下になるように接続して下さい。

以下は目安となる消費電力です。

種類	消費電力	種類	消費電力
保冷温庫	40 ～ 60W	携帯ゲーム機	10 ～ 15W
ビデオカメラ	20 ～ 30W	携帯電話	15 ～ 25W
デジタルカメラ	20 ～ 30W	電気シェーバー	10 ～ 15W
モバイルパソコン	60 ～ 80W	照明機器	20 ～ 40W

*AC 出力部には、①出力短絡保護回路、②オーバーロード保護回路、③異常温度保護回路が搭載されています。

■ご注意ください

- AC 部に問題がある場合、表示画面に“C1”のエラーコードと、内容によってはアラームランプが点灯します。44 ページのエラーコード表を参照してください。
- 接続する機器の負荷電流状況により、バッテリー低容量時には AC 出力が来ない場合があります。バッテリー容量が少なくなってきましたら、充電してください。目安としては、50% 以上でのご利用をお奨めします。
- 本体内部の温度調整の為、内蔵 FAN が作動する場合があります。

お手入れについて

●本体のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると印刷や塗装が剥げる場合がありますので注意してください。お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品の廃棄について

製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収など各自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

-
-
-
- 本書の内容の一部または全部を無断転載・転用することを固くお断りします。
 - 本書の内容に関して将来予告なく変更する場合があります。
 - 本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
 - 商品のデザイン・仕様・外観・価格は予告なく変更する場合があります。
 - 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万が一誤りや記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店又は弊社サポートセンターまでご連絡ください。
 - 乱丁・落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
 - サポートセンターでのお客様との通話内容は、適切及び迅速な回答とサポートサービス向上の為、録音させていただく場合があります。

本製品は、日本国内専用に製造・販売されております。日本国外でのご使用及びトラブルにつきましては保証いたしかねます。

本機製造元：ダイニチ電子株式会社（B-CAS カード手配元）

リチウムイオンバッテリー内蔵製品の利用について

 AC アダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。

常時 AC アダプタ製品を接続したままの状態では、バッテリーの充電電が繰り返され、過充電の状態になる恐れがあります。AC アダプタを接続した状態で長期間にわたる連続使用は過負荷による事故の原因になり、火災や感電の危険があります。

 バッテリー残量が空の状態での保管しないでください。

リチウムイオンバッテリーを長期間にわたって使用しない等、バッテリー残量が空の状態での保管すると、バッテリーからの自己放電が続く事により過放電状態になる恐れがあります。ご購入後は一旦満充電にして、長期間ご使用にならない場合でも 1 年に一度は充電してください。

 過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。

通常は、制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、それが長期間にわたって繰り返されることにより劣化が促進されてしまいます。

劣化により充電電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど性能が低下してしまい、時にはバッテリーとして機能しなくなる場合もあります。また、劣化等により状態が不安定になったバッテリーは、内部の電解液が気化し不具合を引き起こす原因となる場合があります。

◇バッテリーの取り扱いについて

- ご使用の製品にバッテリーの不具合が確認されたら、AC アダプタなどの電源を外し本機電源部の電源スイッチをオフにしてすぐにご使用を中止してください。
- 危険ですので製品からバッテリーを取り出さないでください。
- 直射日光や熱器具などで温度が高くなる所や火気には近づけないでください。
- 処分する場合は、小型家電リサイクル法により、各自治体によって取り扱いが異なります。お住まいの自治体の指示に従ってください。

MEMO

保証規定

本取扱説明書に保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」等を記入、ご確認の上、販売店より受け取ってください。

- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。（本体以外の付属品に関しては初期不良のみ交換対応）
- 修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら」（45ページ）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、下記販売元にご連絡ください。
- 修理に出す前に、お客様が設定した内容をお控えください。修理内容によっては、全ての設定内容が消去される場合があります。
- 本機の使用により発生した本製品以外のおお客様の財産などの損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 本機の使用したことによって発生したあらゆる結果やその他への影響・異常につきましては、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 個別の記録メディアに対する相性問題や動作不良に関しては、弊社では保証の責任を負いませんのでご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書をご提示いただき、保証期間内であれば修理にて対応させていただきます。その際、製品を販売店にお持ち込みいただくか弊社宛に送付していただくセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様のご希望により有料にて修理いたします。その際は、販売元へ連絡願います。

無料保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書、添付ラベルなどの注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無償修理させていただきます。
2. 次の場合には、保証期間中でも有償修理となります。
 - イ）保証書の提示がない場合、もしくは、お客様、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合。
 - ロ）使用上の誤りや、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損害。
 - ハ）故障の原因が本機以外の製品にある場合。
 - 二）落下、冠水などによる故障及び損害。
 - ホ）火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障、公害や異常電圧による故障及び損害。
 - ヘ）不当な改造、誤接続による故障、製造番号の改変もしくは取り外した製品。
 - ト）消耗部品（電池・ベルトクリップ、等）

保証は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan)

* この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売元までお問い合わせください。

株式会社エフ・アール・シー

TEL: 042-793-7746 (10:00～12:00、13:00～17:00、土日祝日及び弊社休業日を除く)

URL: <https://www.frc-net.co.jp>

保証書 持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償修理させていただきます。

- 修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印の無いものは無効です。必ず記入事項の確認をしてください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本製品は、持込修理とさせていただきます。

尚、付属品などに関しては、保証期間はご購入後 1 ヶ月となります。（正常な状態での使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合）

お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、本保証書をお客様にお渡しください。

商品名	10 型テレビ搭載ポータブル電源 NX-PB600TX		
保証期間	1 年間	ご購入日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL		
	お名前		
販売店	住所		
	店名		

F.R.C. CO.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL: <https://www.frc-net.co.jp>



4-715-001

Printed in Vietnam